

成人祝賀会

二十歳になって思うこと

川野秀実さん
(新井)

現在短大に通い、保育士を目指して勉強しています。昔から子どもが好きで、保育士という仕事に憧れていました。学校生活は予想していた以上に忙しく、資格取得の大変さを知りました。くじけそうになった時もありましたが、子ども達の笑顔や周囲の人達の励ましに支えられ、乗り越えることができました。

短大では、友達の範囲も広がり、また、様々な出会いなどがあり、とても充実した毎日を送っています。

これまでの人生で悩みや苦しみ、何度か壁に打ち当たったこともありましたが、私には家族や、親身になってくれる友人達がおり、本当にたくさんの人達に支えられているのだと感じました。

これからは、支えてくれる人達の存在を今まで以上に大切にし、そして、これからの人生に後悔をしないよう、一日一日を大切にし、夢の実現に向けて日々の努力を続けていきたいと思っています。

夢の実現に向けて

森洋人さん
(小田部)

15歳の春、館山市にある海上技術学校へ入学しました。親元を離れての寮生活は、想像以上に様々な試練の連続でした。知っている人は誰もなく、仲間と協調できるまでは、まさに我慢との戦いのようなスタートでした。そして、落ちつき出した頃、カッター部に籍を置いていました。朝5時から

の練習、夕方からは筋肉トレーニングと、まさにこの3年間は、部活に明け暮れた日々でした。つらい事もたくさんありましたが、よき友よき指導者に恵まれ、全国優勝できました。

今、私は兵庫県にある海技高等学校に通っています。3級海技士免許取得の為、9ヶ月間にわたる海上実習を終えたところです。この5年間、趣味のツーリングで全国を走り、実習船で海外や日本各地を回り、たくさん経験と友を得る機会に恵まれました。念願の機関士の仕事につく日まで努力し、夢を実現していきたいと考えています。

二十歳の決意

二十歳になって

吉田真琴さん
(橋場)

今、成人者としてこの会場に立ち思ひ出すことは、私の人生を変えるような多くの人々と出会ったことです。くじけそうになった時には、その恩人達にかけてくれた言葉を自分に言い聞かせています。

人と人との関係が薄れ、他人への無関心が広がっている

と言われる現代に求められるのは、どのように人の心を掴み、気持ちを動かすかだと私は考えています。

私たちは、自分の力の小ささで卑屈になることがあると思います。何でも始まりは手探りからです。これからまず自分が動いてみる、挑戦してみることが大事だと思います。たくさんのものを見て、たくさんの人に出会い、自分のやりたいことを見つけていきたいと思います。

普段生活をしている中で、その答えを探して迷うことも少なくはないと思いますが、何を選んででもひたむきに頑張ることが最高の答えになると思います。

成人式を迎えて

實川聡美さん
(関)

現在、大学に通ってメディア社会全般のことを学んでいます。親元を離れた環境の中で生活し、今までたくさんの人に支えられてきたということに改めて気付きました。いつも私の話を聞き、励ましてくれている友人は大切な存在であり、また、私がかつたことを体験する機会を与え

心配し応援してくれる両親には、心から感謝しています。

二十歳を迎え、社会的にも大人として扱われることを自覚し、今まで以上に自分の行動には責任を持たなければならぬと思っています。

大学生活もあと2年になり、来年は厳しい就職活動に挑戦しなければなりません。日本の経済状態を考えると不安ですが、後悔をしないよう、今できることを頑張る、残りの学生生活を有意義に過ごしたいと思っています。

これからも出会いを大切にし、そして人への感謝の気持ちを忘れず勇気をもって、自分の将来に向かって進もうと思っています。